

2021 年度実施概要

学校名

阪南市立舞小学校

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

実施単元

単元名	学年	教科
1. 「海の生きものとなかよし」	1	生活
2. 「海辺の自然を楽しもう」	2	生活
3. 「海藻って何だろう？」	2・3	生活・総合
4. 「海苔すき体験をしよう」	4	総合
5. 「アマモと海の生き物にふれよう」	4・6	総合
6. 「アマモの種を自分たちで育てよう」	4・5	総合
7. 「自分たちでワカメを育てて収穫しよう」	5	総合

取り組みの概要

本校は、運動場に山の一部やアスレチックがあり、校舎から大阪湾を望むことができる自然豊かな場所にある。これを活かし、昨年度から水の循環を通した山・川・海のつながりについての学習を始めた。

今年度はその際に培養した「フルボ酸」を用いて植物や海草を育てる活動に取り組んだ。海の恵みから作られたフルボ酸が陸で育つ植物のよりよい生育に影響するということを実感し、さらに理科の学習と関連させることで、山や陸地の自然の豊かさが豊かな海につながるということを学ぶことができた。加えて、使用した実感を基にフルボ酸について校内や他校へ紹介する動画の作成も行い、取り組みの発信も行った。

一方でコロナ禍の影響などで取り組めない体験活動や学習もあったが、普段の教科学習と海の学習を関連づけることで、海への関心を高めることを意識して指導した。

また、今年度までの取り組みをふまえ、さらに本校の立地を活かした学習をすすめるため、「山で取り組む海の学習」をテーマに、学習計画の見直しにも取り組んだ。来年度からは山・川・海のつながりをさらに意識し、「山（陸）で自分たちが取り組めること」を考えることができる学習活動にしていきたい。

1. 「海の生きものとなかよし」 1年 生活

「ちりめんモンスター」に取り組み、ちりめんの中にも様々な種類の生き物がいることに気づき、海の生物多様性について知る導入として取り組んだ。

2. 「海辺の自然を楽しもう」 2年 生活

実際に海へ行き、「ビーチコーミング」に取り組んだ。採集した貝殻などの漂着物を用いてフォトフレーム作りを行い、海岸にも海の恵みがあることに気づくことができた。また、活動の際に漂着している海洋ごみの存在にも気づかせ、問題意識をもつ雰囲気醸成した。

3. 「海藻って何だろう？」 2・3年 生活・総合

海藻について学び、「海藻おしば」に取り組んだ。海藻とは何かというところから、海藻の利用などについても学び、その一つとして海藻おしばを作った。海の恵みには「食べる」以外にも利用することができるということに気づくことができた。

4. 「海苔すき体験をしよう」 4年 総合

地域の特産である海苔について学び、実際に海苔すき体験に取り組んだ。普段よく食べる海苔がどのようにして作られているのか学んだ。また、活動前に給食で海苔の佃煮の提供があり、自分たちが作った海苔との比較も行い、海苔一つにも様々な利用法があることに気づくことができた。また、海苔の養殖が府下では阪南市でしか行われていないことも知り、地域の産業に誇りをもつと同時に守っていききたいものであるという思いをもつことができた。

5. 「アマモと海の生き物にふれよう」 4・6年 総合

実際に海へ行き、アマモの花枝採集を行った。4年生はこれまで6年生から紹介されてきたアマモを実際に目にし、海でどのように育っているのかを知ることができた。また、6年生は次代へアマモの種子を引き継いでいくための活動として意識して取り組むことができた。同時に海の生き物観察を行い、実際に採集し、様々な生き物がいることに気づくことができ、大阪湾の生物多様性を実感することができた。

6. 「アマモの種を西鳥取の海に植えよう・自分たちで育てよう」 4・5年 総合

今年度はアマモの苗植えと種子選別がコロナ禍等の理由で実施できなかったが、育苗に取り組んだ。育苗に際して海草と海藻のちがいや、アマモが海でどのような役割をするのかを学び、自分たちの活動が海の環境改善につながることを意識しながら取り組むことができた。

7. 「自分たちでワカメを育てて収穫しよう」 5年 総合

ワカメについて学び、実際に種付けをし、収穫に取り組んだ。小さなワカメの種が大きく成長することを実際に目にし、海に含まれる豊富な栄養が海産物の生育につながることを実感することができた。また、その栄養が川を通して山からきていることを学び、自分たちの身近な環境とのつながりに気づくことができた。

活動中の写真

